



キャリア教育における副教材「小学生のためのお仕事ノート (彦根市・多賀町・豊郷町・甲良町版)2025年度」へ協賛

滋賀県の小学生に製薬業界を身近に感じてもらい、将来の進路選択につながるヒントを提供

森下仁丹株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 森下雄司、以下「当社」）は、キャリア教育の副教材として地域ごとに発行されている『小学生のためのお仕事ノート（彦根市・多賀町・豊郷町・甲良町版）2025 年度』に協賛し、当社の滋賀工場で取り組む製薬事業を紹介するページを掲載することをお知らせいたします。



近年、文部科学省が学習指導要領にキャリア教育の充実を明記するなど、児童期からの職業観育成の重要性がますます高まっています。こうした流れの中で、当社は協賛企業として地域の教育に貢献し、小学生が将来の進路や働くことについて考える手助けとなる情報を提供します。

掲載ページでは、当社独自の球体技術を使ったシームレスカプセルの製造工程をはじめ、滋賀工場で働く従業員の仕事内容やコメントを通じて、製薬業界の魅力やリアルな声を伝えています。また、地域企業の取り組みを紹介することで、子どもたちが「働くこと」を身近に感じ、興味をもつきっかけを提供します。

当社は、今後も事業活動を通じて地域とのつながりを深め、次世代を担う子どもたちの育成支援に取り組んでまいります。

■小学生のためのお仕事ノートについて

「小学生のためのお仕事ノート」は、小学3、4年生を対象にしたもので、自分たちが暮らす地域の産業や、実際に働く人々の仕事について学ぶことができるキャリア教育の副教材です。地元企業や自治体と連携して市区町村ごとにオリジナルで制作されており、写真、イラスト、働く人の声などを交えて小学生が理解しやすい内容となっています。2020年5月の岐阜市での創刊以降、2024年8月までに、28都道府県（全国47都道府県の半分以上）で150誌以上、発行されています。